



新型コロナウイルス PCR検査の強化を

加藤 敏彦議員

検査体制が整っていない中では難しい

健康子ども部長



▲愛西市八開診療所

問 新型コロナウイルス感染症に対して、日本共産党は「検査と医療体制の抜本的強化」が基本と考える。「緊急事態宣言」で収束した感染者が、第2波と言われる状況が起きているのは、検査件数を減らしたからだ。検査体制の抜本的強化にとりくむべきだ。

答 検査体制が整っていない中では難しい。あり、検査数を増やし、感染者を見つけ出し、保護、隔離、治療をすることだ。東京都世田谷区は「誰でも いつでも 何度でも」PCR検査をできる体制の整備をする。愛西市の保健センターや八開診療所に唾液採取式PCR検査キットを購入し、役割の強化を図ることについて、市の考えは。

問 7月の集中豪雨で、熊本県南部では500㎜を超える雨量があり、浸水の深さが最大9mに達し、大きな被害が出た。本市でどのような被害が想定されるか。どのように対応するのか。

500ミリを
超える豪雨対策は

答 現在、洪水ハザードマップの更新作業を行っている。



▲海拔表示(永和地区防災コミュニティセンター)